令和8年度文化財講演会のご案内

橋の文化史

～旧相模川橋脚の謎に迫る～

日時：令和８年１２月６日（日）

13:30～15:50(受付13:00～)

会　場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階

コミュニティホール

講　師:五味　文彦氏(東京大学名誉教授)

申込不要(先着順150人)・入場無料

【内容】

鎌倉時代の橋の遺跡である旧相模川橋脚の歴史的意義や「橋」の持つ文化的な意味などをテーマに講演会を開催します。

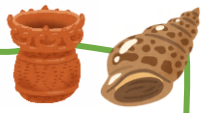
日本中世史の第一人者である五味文彦氏を講師に迎え、発掘調査成果や、古文書・絵巻物から旧相模川橋脚が中世の関東においてどのような存在であったか、その歴史像に迫り、「橋」をめぐる当時の人々の営みについて解説していただきます。



旧相模川橋脚とは

1923(大正12)年の関東大震災による液状化現象により、鎌倉時代の橋杭が市内下町屋の水田から出現したものです。 1926(大正15)年に、「鎌倉時代の1198(建久9)年に源頼朝の重臣　稲毛三郎重成　が亡き妻の冥福を願い、供養のために旧相模川に架けた橋の橋脚である」と考証され、国の史跡として指定されました。本年は国史跡指定から100周年という節目の年にあたります。

同日開催！



第３７回　遺跡調査発表会

令和7年度に市内で行われた埋蔵文化財の発掘調査の成果等について、調査担当者が発表します。

時　間:10:00～12:20(受付　9:30～)

会　場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階　コミュニティホール

申込不要(先着順)・入場無料

会場にて、調査成果をまとめた冊子を配布！

発掘調査で出土した土器や動物の骨などの遺物は「遺跡調査展示会」にて展示します。
(裏面をご覧ください。)

主催:問い合わせ先　茅ヶ崎市教育委員会社会教育課　0467－81－7226

市HP